

# 6 主食用米以外の情報

## 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

### (1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

	合計			(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078
5年産	195,311	70,965	266,276	95,642	174,506
6年産	204,855	67,462	272,317	102,366	175,007

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注1：「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。

注2：参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注3：参考の平成27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注4：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:面積ha、生産量トン)

	新規需要米 合計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール 用米		その他 (わら専用稲・ 青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
令和元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	-	-	-	-	92	-
5年産	203,729	834,965	7,587	40,298	133,925	744,893	53,055	9,091	49,775	-	-	-	-	71	-
6年産	172,790	615,508	6,330	31,744	98,666	522,631	56,479	11,246	61,133	-	-	-	-	69	-

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成22年産～令和6年産）」

注1：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注2：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注3：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注4：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### (3) 令和6年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
		うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	272,317	204,855	67,462	615,508	522,631	61,133	31,744	172,016	1,059,841
北海道	38,360	25,986	12,374	50,093	35,178	14,034	881	4,686	93,138
青森	4,294	3,872	422	35,017	32,088	2,878	50	24,416	63,727
岩手	7,011	5,623	1,388	28,978	26,513	2,373	93	3,415	39,404
宮城	5,161	4,171	990	46,162	39,253	6,436	473	11,276	62,599
秋田	48,823	28,293	20,530	18,536	13,916	3,077	1,543	14,512	81,871
山形	24,357	21,984	2,374	29,692	26,441	2,684	567	20,195	74,244
福島	2,413	2,127	286	38,300	37,228	989	83	26,313	67,026
茨城	6,872	6,544	328	60,223	53,937	5,763	523	616	67,710
栃木	10,393	10,125	268	64,808	60,384	321	4,103	5,773	80,974
群馬	6,790	6,790		5,579	4,669	11	899		12,369
埼玉	665	665		13,288	8,810	271	4,207	204	14,156
千葉	11,346	6,683	4,663	39,028	38,165	264	599	642	51,016
東京									
神奈川				58	57		1		58
新潟	36,416	20,796	15,620	32,854	15,491	9,842	7,521	24,499	93,769
富山	6,073	4,617	1,456	14,149	10,485	2,007	1,658	10,261	30,483
石川	2,799	2,130	670	4,253	2,466	477	1,310	874	7,926
福井	2,552	2,088	465	9,883	7,879	1,404	600	2,500	14,935
山梨	338	335	4	189	90		99		527
長野	4,626	4,447	179	4,056	1,992	1,868	197	1,352	10,034
岐阜	5,424	5,418	6	14,417	13,440	605	373	423	20,264
静岡	509	509		3,651	3,625	3	22	19	4,179
愛知	3,193	3,001	192	8,079	6,400	194	1,485	722	11,994
三重	845	789	56	8,718	7,914	556	247	0	9,562
滋賀	2,562	2,166	397	8,573	7,144	1,217	212	1,159	12,294
京都	2,609	2,595	14	656	506	102	48		3,265
大阪	1	1		34	30		4		35
兵庫	3,289	3,042	247	4,075	2,883	1,021	171		7,364
奈良	45	45		295	144		150		340
和歌山				18	13		5		18
鳥取	86	86		3,495	3,355	137	4	389	3,970
島根	1,050	946	104	3,386	3,339	12	35	126	4,562
岡山	1,525	1,436	89	7,165	5,654	1,082	428	191	8,881
広島	1,895	1,780	115	2,905	2,146	285	474	28	4,829
山口	4,791	4,700	91	5,563	5,092	377	95		10,355
徳島	92	89	2	2,975	2,741	179	55	235	3,302
香川	246	246		1,023	816	173	34		1,269
愛媛	260	260		1,651	1,625		26		1,912
高知	410	410		3,775	3,692		83	10	4,195
福岡	1,033	546	487	11,078	9,781	56	1,241	35	12,146
佐賀	2,022	100	1,921	3,884	3,745	45	94	0	5,905
長崎	26	26		630	591	15	23		656
熊本	3,389	1,727	1,662	8,038	6,959	208	871	0	11,427
大分	751	751		8,696	8,639	20	37	91	9,538
宮崎	10,276	10,276		4,523	4,307	143	73		14,799
鹿児島	6,571	6,508	63	3,060	3,009	4	47		9,631
沖縄	128	128		3	1		1		131

資料：農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和6年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和6年産備蓄米の政府買入入札の結果」

注1：政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分17,054トンを含んでいる。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

### ① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
あきいいな、亜細亜のかおり、いわいだわら、笑みたわわ、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば

### ② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら、やまだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	みほひかり
福島県	たちすがた、アキヒカリ、まいひめ	岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり	広島県	中生新千本
栃木県	月の光	山口県	あきだわら
群馬県	月の光	徳島県	あきだわら
埼玉県	むさしの26号	愛媛県	媛育71号
千葉県	アキヒカリ、初星	高知県	とよめき、たちはるか
山梨県	ふくおこし	福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
長野県	ふくおこし	佐賀県	レイホウ、さがうらら
静岡県	どんとこい、あきだわら、月の光	長崎県	夢十色
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい	熊本県	タチアオバ、越のかおり
富山県	やまだわら、アキヒカリ	大分県	タチアオバ
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら	宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号、ひなたみのり
福井県	あきだわら、シャインパール	鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミユタカ、夢十色、夢はやと、くいつき
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ		
愛知県	タチアオバ、たちはるか、とよめき、もみゆたか		

## (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

### ① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
亜細亜のかおり、あみちゃんまい、越のかおり、笑みたわわ、北瑞穂、こなだもん、ふくのこ、ほしのこ、ミズホチカラ

### ② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ
宮崎県	ひなたみのり

## 2 米加工品の状況

### (1) 主な米加工品の生産状況

(トン、k2)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	対前年 同期比
	(1~4月)								
加工米飯	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	440,068	471,765	157,205	107%
レトルト米飯	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	41,713	46,534	15,632	107%
無菌包装米飯	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	208,654	216,270	73,593	110%
冷凍米飯	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	181,357	200,050	65,143	103%
チルド米飯	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	2,885	2,895	842	94%
缶詰米飯	553	526	422	422	451	395	402	105	78%
乾燥米飯	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	5,063	5,614	1,890	93%
米 菓	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	203,933	202,915	67,426	97%
あられ	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	90,294	90,526	30,064	98%
せんべい	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	113,639	112,389	37,362	96%
味 噌	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	457,850	456,487	152,281	101%
米みそ	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	391,542	394,048	131,985	102%
調合みそ	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	31,627	30,777	10,582	102%
(麦みそ)	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	12,977	12,439	4,039	92%
(豆みそ)	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	21,704	19,223	5,675	82%
米穀粉	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	96,998	102,740	34,623	100%
上新粉	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	42,984	43,007	13,909	89%
もち粉	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	9,728	10,499	3,530	98%
白玉粉	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	4,282	4,181	1,333	105%
寒梅粉	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	1,535	1,491	530	100%
らくがん粉・みじん粉	984	1,120	1,013	993	1,008	732	769	223	81%
だんご粉	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	1,002	995	307	91%
菓子種	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,947	2,126	602	76%
新規米粉	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	34,787	39,672	14,189	115%
包装もち	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	70,812	68,150	17,088	114%
日本酒	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	390,443	377,655	117,761	97%
特定名称酒	170,642	164,641	142,121	138,084	145,394	145,644	143,370	43,988	100%
吟醸酒	23,126	22,240	19,682	19,464	19,736	18,727	18,803	20,037	100%
純米吟醸酒	45,377	45,491	40,362	41,611	45,582	47,645	46,937	14,589	98%
純米酒	63,998	61,799	54,729	52,669	55,250	55,035	55,179	17,564	101%
本醸造酒	38,141	35,111	27,349	24,339	24,826	24,237	22,452	6,387	95%
一般酒	324,410	302,231	276,386	266,215	259,092	244,800	234,285	73,773	96%
単式蒸留焼酎	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	371,022	355,068	108,064	95%
いも焼酎	189,979	182,169	176,801	164,226	165,230	154,434	146,185	45,564	99%
米焼酎	36,362	34,531	31,507	29,552	29,897	29,690	29,086	8,790	93%
(麦焼酎)	176,608	171,222	168,352	162,420	163,487	153,416	149,080	46,602	96%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和6年及び令和7年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

## (2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和3米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲5万トンの約86万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約67万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約78%。残りの約22%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別には、日本酒において加工用米を中心に使用量が減少。

### ＜うるち米＞

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	2	8					10
味噌用		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		3	1		6
米穀粉用		1	4	1	2	1	8
その他用	1	1		1	1		4
合計	12	20	4	17	11	3	67

### ＜もち米＞

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		2		1	6
米穀粉用		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	7	5		2	1	4	19

- 注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。  
 2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約11万トンを含んでいない。  
 3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。  
 4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。  
 5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。  
 6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）  
 焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）  
 米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。  
 なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計  
 加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告  
 新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）等に基づく推計  
 MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）  
 輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）  
 特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

### (3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

#### <うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
	3	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌用	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉用	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他用	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
	3	1	1		1	1		4
合計	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72
	3	12	20	4	17	11	3	67

#### <もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓用	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉用	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他用	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
合計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

注1: 日本酒用の( )書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゆう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### 3 酒造好適米の需給状況

#### (1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

#### 日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	6年	7年	
	10年					元年						(1~4月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	495	467	419	404	404	390	378	118	97%
特定名称酒	291	221	174	164	171	165	142	138	145	146	143	44	100%
吟醸酒	34	30	20	21	23	22	20	19	20	19	19	5	107%
純米吟醸酒	25	26	24	29	45	45	40	42	46	48	47	15	98%
純米酒	62	54	57	58	64	62	55	53	55	55	55	18	101%
本醸造酒	169	111	73	56	38	35	27	24	25	24	22	6	95%
一般酒	842	650	485	416	324	302	276	266	259	245	234	74	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和6年、7年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計。

注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は、日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

#### 日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	6年	7年	
	10年					元年						(1~5月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	26	25	22	32	36	29	29	19.2	114%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	6	6	5	9	9	7	7	4.6	100%
中華人民共和国	0	0	0	1	4	5	5	7	7	6	6	6.0	135%
香港	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2	2.1	117%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	1.0	97%
大韓民国	0	0	2	4	5	3	2	2	4	4	4	1.8	112%
その他	2	2	3	4	6	6	5	8	10	7	7	3.7	108%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

#### (2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、平成25~29年産では、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、18~23万トン程度で推移。

#### 日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	対前年比 5/4年
日本酒原料米	405	315	261	243	227	206	180	184	198	192	104%
酒造好適米	99	75	77	76	88	83	70	67	73	80	119%
加工用米	86	89	74	95	90	85	63	67	71	68	101%
その他	220	151	110	72	49	38	47	50	53	45	89%

資料：農林水産省による推計値。

### (3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産の109千トンピークに減少傾向で推移。
- 令和2及び3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量が大幅に減少。

#### 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成					令和						
	10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	91,630	94,539	103.2%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	33,916	34,644	28,342	27,609	28,168	34,608	33,952	98.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	21,203	19,767	17,561	13,612	14,970	17,072	17,469	102.3%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	4,525	4,654	102.9%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	3,142	2,965	94.4%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	31,607	32,636	31,578	27,429	29,915	32,283	35,500	110.0%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：令和6年産は、令和7年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したものの。

### (4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和6年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和6年産が81～83千トン程度、令和7年産が82～84千トン程度と見込まれる。

#### 酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	令和4年産	5年産		6年産		7年産	
			対4年産比		対4年産比		対4年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	60,124	65,406	108.8%	67,446	112.2%	67,903	112.9%
山田錦	24,058	27,485	114.2%	28,533	118.6%	28,573	118.8%
五百万石	12,252	13,054	106.5%	13,085	106.8%	12,880	105.1%
美山錦	2,861	2,975	104.0%	2,993	104.6%	3,005	105.0%
雄町	1,510	1,623	107.5%	1,571	104.0%	1,597	105.8%
その他	19,443	20,268	104.2%	21,265	109.4%	21,848	112.4%
酒造好適米の全体需要量(推計)	73～74千トン	79～81千トン		81～83千トン		82～84千トン	

資料：「令和6年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和6年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和6年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約81～83%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。  
URL：[https://www.maff.go.jp/j/seisaku\\_tokatu/kikaku/sake.html](https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html)

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

1 米の需給		
主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和7年3月26日))	需給-1	
2 米の在庫情報		
令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)	在庫-1	Excel
3 米の価格情報		
1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和5年産)	価格-1	Excel
2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)	価格-4	
3 米の現物市場の状況	価格-5	
4 堂島取引所による米穀指数市場(先物取引)の状況	価格-6	
4 米の契約・販売情報		
1 令和5年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)	契約-1	Excel
2 政府備蓄米の買入札の結果(落札実績)(平成24年産～令和6年産)	契約-7	
5 支援事業等		
(1) 水田活用の直接支払交付金等	支援-1	
(2) 畑地化促進事業	支援-2	
(3) 畑作物産地形成促進事業	支援-3	
(4) コメ新市場開拓等促進事業	支援-4	
(5) 小麦・大豆の国産化の推進	支援-7	
(6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	支援-8	
(7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)	支援-10	
(8) 収入保険	支援-13	
(9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業	支援-15	
(10) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト	支援-17	
6 その他		
(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果	その他-1	
(2) 国産飼料用米の需要情報	その他-2	
(3) 麦・大豆の需要情報		
① 令和7年産麦の産地別銘柄別入札結果	その他-4	
② 令和6年産大豆の産地品種銘柄別入札結果	その他-6	
(4) 野菜等の需給情報	その他-11	
(5) 令和6年産水稻の収穫量	その他-15	
(6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移	その他-24	

農業者と農林水産省をつなぐ  
新たなコミュニケーションツール

# MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。  
現場の情報を直接届ける。



MAFF  
Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries  
農林水産省



Android iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>